

平成30年度 第9回部長会議 会議記録 要旨

開催日時：平成30年11月6日（火） 13時00分から13時50分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、佐藤副市長、寺澤総務部長、今村総合政策部長、北沢リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、小平建設部長、奥出建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、吉村危機管理室参与、赤羽目会計管理者、吉川議会事務局長代理北原議会事務局次長、三浦教育次長、櫻井社会教育担当参事、塚平財政課長、串原企画課長

欠席者：代田教育長、木下市長公室参与、関島消防長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

予算編成の時期を迎え、来年度に向けた取組の議論が進められていると思う。議会の各会派の皆様方から予算編成に向けた要望をいただいている中では、やはり財政健全化を維持しながらリニア時代を見据えた投資ができるかという部分をご心配いただいている。また、今回の小中学校への空調設備を設置する件でも明らかである通り、変化の激しい時代において足元と将来を両方見据えながら予算編成を考える必要があり、大変難しい時期にあることを感じている。そのような状況の中で、不断の行革努力によって財源を確保しながら、将来に備えるとともに、国全体の流れにも対応するというように、柔軟性を持ちながら将来に向けた一歩を進めていくことが大切であると考えている。同じ効果が出るのであれば、事業費をどのように圧縮して、計画を実現させていくかということを常日頃から意識していただき、それぞれの部署において今一度確認していただくようよろしくお願いいたします。

<副市長>

行革本部会議では各課から提案いただいたことも含めて、これからどのように取り組んでいくか検討している段階であるが、今までだったら踏み込めていなかった部分についてもこれからは踏み込んで、取組を進めていかなければならないと考えている。痛みを伴うことであるが、職員皆さんが力を合わせて取り組んでいただくようお願いしたい。市長から足元と将来の話があったが、大きな事業はもちろん大切にさせていただくとともに、足元の小さな支出も大切にさせていただきたい。小さな金額でも積み重なれば大きな金額になるので、日頃の会計事務を改めて見直していただくようお願いしたい。

2 報告事項

(1) 平成30年10月の交通事故報告について（総務部）

◇趣旨：10月に発生した公用車および通勤中・公務外の交通事故の事案を部長会議で共有し、交通事故の防止に取り組んでいただくもの。

◇論点・課題

- ・10月は公用車の事故が0件だったものの、通勤中・公務外の事故が1件あり、人身事故であった。
- ・今後の取組として、下半期の交通事故発生0件を目標に、安全運転宣言の実施、特定車両の運転操作支援、事故等を起こした職員に対する安全運転研修の実施に力を入れていく。
- ・10月15日に実施した交通安全講話で事故件数の推移や事故の原因・傾向を資料として示したので、各部局内で共有をして事故防止に努めていただきたい。

◇主な意見等

（総合政策部長）今年度の事故の状況と今後の取組目標についてはきちんと議会でも説明していただきたい。

（総務部長）議会でもきちんと説明をさせていただくよう進めたい。

（市長）事故の原因や傾向の分析、事故を減らす取組をきちんと伝えていただきたい。

(2) 飯田市議会第4回定例会の議案について（総務部）

◇趣 旨：平成30年飯田市議会第4回定例会の開会日（11月26日）に提出する予定の議案、報告案件3件、条例案件11件、一般案件10件、予算案件6件、計30件について報告する。なお、中日提案として、国会での法案が成立した場合、職員の給与に関する条例等の一部改正とそれに伴う人件費にかかる一般会計と特別会計の補正予算、また障がい者ケアセンター、デイサービスセンターの指定管理者の指定について予定している。

◇主な意見等

特になし

(3) 平成30年度一般会計補正予算（第7号・第8号）案について（総務部）

◇趣 旨：平成30年飯田市議会第4回定例会に提出予定の一般会計補正予算（第7号・第8号）案について報告する。

◇論点・課題

- ・第7号は、9月30日～10月1日の台風24号豪雨による災害復旧費である。台風24号豪雨では、24時間雨量140.5mm、最大時間雨量は27.5mmを記録し、規定を超えたため災害と認められたもの。補正額は353,000千円である。
- ・第8号は、補正額が1,548,364千円であるが、主な内容として小中学校普通教室への国庫補助を活用した空調整備に13億円余を充てている。これは30年度の国の補正予算を受けて飯田市でも予算化したものである。そのほかには、学校施設ブロック塀緊急対応工事や通学路等の危険ブロック塀等の除去、また寄附見込の増に伴うふるさと飯田応援交付金の増額を計上している。
- ・これまでも申し上げているが、大変厳しい財政運営をしている状況であるので、今後の予算の執行にあたっては特にご留意いただきたい。

◇主な意見等

（総合政策部長）飯田市として空調設備の整備の考え方を共有していただきたい。

（教育次長）今回の補正には、特別支援学級の教室を含めた小中学校の普通教室が計上されている。これ以外の管理諸室といわれる職員室や特別教室の音楽室、理科室についてもできれば整備したいと考えている。小中学校の全部の教室に空調設備を整備するのではなく、全体の約5割の教室を整備するという考え方である。普通教室については、平成30年度から31年度にかけて整備し、職員室や音楽室、理科室については32年度以降、順次整備するよう計画している。

(4) 次期飯田市下水道事業経営計画策定について（上下水道局）

◇趣 旨：平成26年度に策定した「第1次飯田市下水道事業経営計画」について、時点検証・修正を行い、計画期間を2020年度までとするもの。

◇論点・課題

- ・下水道施設を適切に管理するため、今後の維持・修繕及び更新の中心計画となるストックマネジメント計画の策定に現在取り組んでいる。ストックマネジメント計画策定は、2021年度以降の国庫補助事業採択の要件となっている。
- ・次期の第2次飯田市下水道事業経営計画（仮称）は、2020年度までに作り上げるストックマネジメント計画の内容を反映させて2021年度からスタートさせることが最適であると判断し、現在の経営計画の期間を2020年度まで2年間延伸する。
- ・2年間延伸することで、いいた未来デザイン2028の前期から中期への見直し時期と重なり、いいた未来デザイン2028や飯田市土地利用基本方針等とも整合を図りながら持続可能な下水道事業の構築を図る計画として位置付けていく。
- ・今後は市議会第4回定例会産業建設委員会協議会で報告をさせていただき、平成31年1月に一般公表をする予定である。

◇主な意見等
特になし

(5) 三遠南信サミットに関する報告について（総合政策部）

◇趣 旨：10月29日に行われた三遠南信サミットの内容を部長会議で共有するもの。

◇論点・課題

- ・今まであまり動いていなかったプロジェクトもあるが、三市の同じ部局の担当者が集まり情報共有や今後の進め方について議論をしていただくなど、具体的に取り組んでいきたいと考えている。
- ・各部局でもテーマや重点プロジェクトをご確認いただき、ビジョンに掲げたプロジェクトの実現に向けてご協力をお願いしたい。

◇主な意見等
特になし

(6) コンベンション施設・屋内体育施設の検討に関する基本的な考え方（素案）に関する検討状況の共有と意見募集について（総合政策部）

◇趣 旨：南信州広域連合から示された「コンベンション施設・屋内体育施設の検討に関する基本的な考え方（素案）」について、各部局内及びコンベンション施設や屋内体育施設に関連の深い団体等に検討状況を共有するとともに意見募集の協力をお願いする。また、各地区まちづくり委員会でも同様に検討状況の共有と意見募集の協力をお願いする。

◇主な意見等

- (市民協働環境部長) まちづくり委員会への意見の聞き取りについて、前回の調査の際に候補地等を挙げていただいている地区についても再度意見募集をした方がよいか。
- (総合政策部長) 改めてご相談をさせていただきたい。

(7) 飯田市議会全員協議会（11/20）における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：11月20日開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件を報告する。

◇論点・課題

- ・現時点で報告する案件は連絡をいただいている。
- ・再度ご確認いただき、報告案件があれば至急ご連絡をいただきたい。

◇主な意見等
特になし

3 その他、連絡事項

4 閉 会